

1章 尿検査

腎臓, 尿管, 膀胱, 尿道の構造 [小堀 祐太朗]	736
検体の種類と適切な採取方法, 保存方法 [古林 康介]	741
色調, 混濁 [佐藤 志保美]	744

❖尿定性検査: 原理, 臨床的意義, 感度, 異常反応

尿蛋白, 蛋白・クレアチニン比 (P/C 比), アルブミン・クレアチニン比 (A/C 比) [佐藤 志保美]	746
尿糖 [徳永 裕介]	748
尿潜血 [中川 禎己]	750
白血球反応, 亜硝酸塩試験 [小野 篤史]	752
尿ビリルビン, 尿ウロビリノゲン [根本 大輔]	755
尿ケトン体 [内田 大貴]	758
尿比重, 尿pH [小木曾 菜摘]	760

❖尿定量検査: 原理, 臨床的意義, 異常反応

β_2 -ミクログロブリン, N-アセチル- β -D-グルコサミニダーゼ, 肝型脂肪酸結合タンパク質, 好中球ゼラチナーゼ関連リポカリン [塚原 祐介]	762
尿中電解質 [服部 亮輔]	764
タンパク・クレアチニン比, アルブミン・クレアチニン比 [土筆 智晶]	768

❖尿沈渣検査

標本作製方法 [宮前 香織]	770
染色方法 [宮前 香織]	772
非上皮細胞類 [阿部 紀恵]	774
上皮細胞類 [武田 泉]	779
ウイルス感染細胞 [川満 紀子]	784
異型細胞 [中島 和希]	786

円柱類 [丸橋 遼太]	791
塩類, 結晶類 [長瀧 和子]	796
微生物・寄生虫類, その他の成分 [前田 佳成]	801
尿中に出現する混入物 [富永 美香]	804
❖測定機器と精度管理	
尿分注装置 [金並 真吾]	806
尿定性検査装置 [金並 真吾]	808
尿定量検査装置 [山本 裕之]	810
有形成分分析装置 [横山 隣]	812
❖腎機能検査	
血液検査項目 (クレアチニン, 尿素窒素, シスタチンC) [太田 達也, 星 雅人] ...	816
糸球体濾過量, クレアチニンクリアランス [西山 大揮]	818
タンパク透過性 [横山 千恵]	820
尿中排泄率 [土筆 智晶]	822

2章 糞便検査

糞便の成分と一般的性状 [山田 真以]	824
糞便の検体採取・搬送・保存法 [山田 真以]	826
❖糞便検査	
便潜血反応検査とトランスフェリン検査 [須藤 由美子]	828
便中カルプロテクチン検査 [須藤 由美子]	830
❖寄生虫検査	
検査法, 染色法 [山田 真以]	832
虫体鑑別, 衛生動物 [藤田 拓司]	836
蠕虫卵の鑑別 [松村 隆弘]	840
腸管寄生原虫の鑑別 [松村 隆弘]	844
陽性時の対応 [藤田 拓司]	848

3章 髄液検査

脳脊髄の解剖と髄液 [渡部 慎之介, 玉井 賢司郎]	851
検体の採取方法と取り扱い [渡部 慎之介, 玉井 賢司郎]	854
❖細胞数算定検査	
検査法, 細胞算定・分類法 [藤村 和夫]	857
細胞の形態的特徴と鑑別方法 [鈴木 清江]	860
髄液定量検査 [森田 賢史]	867
各種髄膜炎の検査所見 [田中 雅美]	872

4章 胸水・腹水・心嚢液検査

体腔液 (胸水, 腹水, 心嚢液など) 貯留のメカニズムと, 漏出液・滲出液の鑑別 [高橋 隆也]	876
検体の採取方法, 色調, 混濁, pH, 比重 [山田 暁]	880
染色法, 算定法, 塗抹標本作製法 [松岡 拓也]	884
体腔液に出現する細胞成分 (基本レベルのギムザ染色), 結晶などの鑑別ポイント [佐伯 仁志]	888

5章 関節液検査

関節の構造と関節液貯留のメカニズム [三浦 靖史]	895
検体採取方法と一般的性状 [片山 裕大]	898
関節液細胞数算定と細胞分類方法 [片山 裕大]	902
鋭敏色偏光顕微鏡の使用方法和結晶の鑑別方法 [片山 裕大]	906
痛風, 偽痛風, 感染性関節炎における 関節液検査の臨床的意義 [三浦 靖史]	908

6章 精液検査

生殖器の解剖と臨床的意義

正常精液, 乏精子症, 精子無力症, 無精子症, 奇形精子症 [山下 美香] 914

精液の検体採取法と一般的性状 [山下 美香] 918

各種検査

総精子数, 精子濃度, 精子運動率, 精子正常形態率, 精子生存率 [山下 美香] 920

7章 BALF検査

塗抹標本作製法とBALF 内に認める細胞の鑑別所見 [佐々木 彩] 924

8章 一般検査室の安全管理

検体別検出リスクの高い病原体と必要な防護具や設備 [中村 彰宏] 928